

令和2年10月22日

大学院学生各位
To All Graduate Students

令和2年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture Tokuron AY2020

題目：情動脱力発作を利用した快情動の脳内機構研究

Title: A quest for brain circuit of positive emotion utilizing cataplexy

講師：桑木 共之先生

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・教授

Teaching Staff: Dr. Tomoyuki Kuwaki

Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University

日時：令和2年12月22日（火） 17:00—18:30

Time and Date: 17:00 - 18:30, 22 December, 2020

場所：名古屋大学 環境医学研究所 南館大会議室（東山）

Room: Research Institute of Environmental Medicine, South Building, S204 (Higashiyama Campus)

*** 関係講座部門等の連絡担当者：環境医学研究所・神経性調節学 山中章弘（3864）**

Contact: Akihiro Yamanaka (3864)

使用言語：日本語 *事前連絡は不要です。Lecture in Japanese. No registration required.

情動の脳内メカニズムを研究する為に実験動物を利用する際には行動から情動を推測するしかない。情動脱力発作とは、ナルコレプシー（傾眠病）患者に見られる特徴的な発作であり、笑いなどの快情動をきっかけとして四肢の筋肉が弛緩してその場に崩れ落ちる現象である。ナルコレプシーのモデル動物であるオレキシン欠損マウスでも脱力発作が観察され、しかも快刺激と思われるチョコレートや兄弟の同居でその頻度が増加することが知られている。本講演では、①オレキシン欠損マウスの脱力発作が快情動誘発性である事の更なる証拠の提示と、②オレキシン欠損マウスの脱力発作の脳内責任部位として側坐核が有力であることを紹介する。笑門来福の脳内縁起を研究する手掛かりになる事を期待している。

参考文献

1. Su J, et al. Sci Rep 10:4958 (2020)